指導案⑩

**地震防災　学習指導案**

年　月　日（　）第　校時

学年　　　　　　　高学年

児童数　　　　　　　　名

場所　教室・防災関連施設

指導者

**１　題材名**　「防災関連施設の見学と課題学習」

**２　題材について**

　（１）児童の実態

（小学校の立地、児童の人数、特徴などを書く。）

　（２）題材設定の理由

　　　防災の学習では、「知識・技能」の習得、「理解力・判断力・表現力（行動力）」の育成、「学びに向かう姿勢・人間性」の涵養といった3要素が必要である。学校での日頃の防災教育を通してこれらの力を伸ばしていくことはもちろん、こどもたちが自ら課題を設定して解決していく学習も意義がある。社会資源としての災害ミュージアムや防災に関する施設を訪れて、自ら設定した課題の解決を図る学習の機会を設け、こどもたちの課題解決能力を高めたい。

**３　評価規準**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 観点 | 集団活動や生活への  関心・意欲・態度 | 集団の一員としての  思考・判断・実践 | 集団活動や生活についての  知識・理解 |
| 評価規準 | 自己の生活の充実と向上に関わる問題に関心を持ち、自主的に日常の生活や学習に取り組もうとしている。 | 楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、日常の生活や学習の課題について話し合い、自分に合ったよりよい解決方法などについて考え、判断し、実践している。 | 楽しく豊かな学級や学校の生活をつくることの大切さ、そのための健全な生活や自主的な学習の仕方などについて理解している。 |

**４　事前の指導**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 児童の活動 | 指導上の留意点 | 目指す児童の姿と評価方法 |
| グループに分かれて、災害や防災に関わって知りたいこと、解決したいことを話し合う。 | 自然環境や社会環境の視点、ハザードの理解や備え、災害対応の視点など、多様な視点を持たせる工夫をする。 | 自ら課題を設定し、その解決に向けて調べ学習を行う姿勢を身につけているか。 |

**５　本時のねらい**

　「防災関連施設」を訪れ、様々な体験をしながら事前に考えた課題の解決のためのヒントを探す。持ち帰ったヒントと合わせて、学校での次の学習や本、インターネットなどでの自主学習を通して課題解決を目指す。そのための体験的学習を積ませる。

**６　本時の展開**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 児童の活動 | 指導上の留意点 | 目指すこどもの姿と評価方法 |
| 導入 | 前の時間に話し合って決めた課題をプリントに書いて持ち寄る。解決のためのヒントを記入するノートを準備しておく。 | 本時の体験学習は設定した課題の解決が目標であることを理解させる。 | 課題解決への準備をしっかりとし、ヒントを探そうという意欲があるか。 |
| 展開 | 施設の展示物を見学し、課題解決のヒントを探す。  活動を通じて防災への意識を高める。 | こどもたちの課題を事前に理解しておき、困っているこどもたちがいれば、どこへ行けば解決の糸口が見つかるかをアドバイスする。 | 積極的に展示を見学しているか。  　課題解決に向けて、施設職員への質問を積極的にしているか。 |
| まとめ | 感想文を書き、アンケートに回答する。  次回の授業で課題解決の話し合いができるように、見学した内容を整理しておく（宿題）。 | 見学した感想を書かせる。  施設に関するアンケートに回答させる。  持ち帰ったヒント、解決の糸口を用いて、次回の授業で課題解決の話し合いをすることを知らせておく。 | 作文をしっかりと書けているか。  　アンケートに前向きに答えているか。  　発見したこと、学んだことを丁寧にまとめているか。 |

**７　事後の指導**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 児童の活動 | 指導上の留意点 | 目指す児童の姿と評価方法 |
| 防災関連施設の見学で得た知識を使って課題を解決するため　に話し合いをする。  話し合った内容を発表する。 | 防災関連施設での体験学習が課題解決の話し合いにつながるようにコーディネートする。 | 防災関連施設での体験学習を課題解決につなげているか。  課題の解決方法が具体的でないように妥当性があるか。 |

以上